

2017年度予算

区民の運動と共産党区議団の提案が区政を動かす

区政の大もとを変えるため がんばります

党区議団は昨年9月、港区長に対し2017年度予算要望を提出してきました。今回の予算案の中には、これらの提案が一定盛り込まれました。しかし、区民生活がますます苦しくなっているにも関わらず、市街地再開発に38億円もの補助金を出すなど、いっそう巨額な無駄づかいを進めようとしています（裏面参照）。ここでは、区民の運動と党区議団の提案で予算に具体化された主な内容を紹介します。

まちづくり・環境

●小型街路灯LED化推進

1億4650万円
 【事業内容】低炭素社会へ向け、更なる省エネルギー化を進めるため、道路の小型街路灯（約5000基）にLED照明器具を導入。

●シテイハイツ六本木建替

28億3760万円
 【事業内容】区営住宅シテイハイツ六本木を建替えるとともに、障害者グループホームサービスタ付き高齢者向け住宅等を整備。
 ・整備施設
 ・障害者グループホーム
 ・サービスタ付き高齢者向け住宅
 ・自転車等駐車場、他
 〈竣工予定〉2017年6月

●建築物耐震改修等促進

11億5161万円
 【事業内容】住宅の耐震性の向上や建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぐため、木造住宅や分譲マンション等の民間建築物に対する耐震化支援事業を実施するとともに、分譲マンションの耐震診断の未実施を解消するため助成を拡充。
 ・耐震診断助成
 ・助成割合 2/3 ↓全額
 ・限度額 300万円
 ↓450万円

●震災復興基金積立金

380億円
 【事業内容】首都直下地震等の将来の突発的な財政需要に対応する積極的・戦略的な備えとして、発災直後から区主導で迅速かつ地域に即した復旧・復興を実現するため基金を積立て。
 〈目標額〉基金残高1000億円（2022年度末）

まちづくり・産業

●台場の地域交通の運行

1億3181万円
 【事業内容】台場地域における交通手段を継続して確保するため、平成29年度から台場シャトルバスを新たに民間事業者による路線バスとして運行し、区は運行事業者に対する支援を行う。

●小・中学校特定天井等耐震化改修

6億725万円
 【事業内容】学校施設の安全を確保するため、特定天井（天井高さ6m超かつ面積200㎡超の大規模な釣天井）等の耐震化を実施。
 ・実施施設 10校13ヶ所（小学校5校5か所、中学校5校8か所）

●高層住宅等の耐震対策

2889万円
 【事業内容】高層住宅の一層の耐震化を図るため、区内の高層住宅へ防災対策の取組状況を記す防災カルテを活用した訪問啓発を実施し、助成制度等、防災対策の周知を行うとともに、マンション防災ハンドブックを改定し、配布。


●家具転倒防止対策等促進

1768万円
 【事業内容】震災時の家具転倒等によるけがをなくすため、家具転倒防止対策の必要性の周知啓発イベントを実施するとともに、妊産婦・ひとり親世帯へ取付支援の対象世帯を拡大。

まちづくり・産業

●みなとたばこルール推進

3億8832万円
 【事業内容】喫煙場所の増設（7か所）や、デジタルサイネージによる在勤者・観光客に対する啓発、店舗・事業者への指導強化に取り組む。

●旧協働会館保存・活用事業

1億9159万円
 【事業内容】区指定有形文化財である旧協働会館について、伝統文化の継承や地域活動、交流の拠点として利活用するため、改修工事を実施。
 〈開設予定〉2020年4月

●区内共通商品券発行支援

6451万円
 【事業内容】区内商店街の活性化のために、区内共通商品券（発行金額2億2千万円）のプレミアム分と運営・発行経費の一部を補助する。また、一般商品券等発行に要する供託金分を貸し付け。

●販路拡大支援

3387万円
 【事業内容】区内中小企業の産業見本市等の開催を促進し、本市等の出展を促し、販路の拡大を図るため、国内産業見本市への出展補助数及び海外産業見本市への出展補助対象企業を拡充する。また、中小企業診断士による各種セミナーを実施。

裏面に続く

